管機連Daily News

2026年11月2日（月）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆7～9月ほぼゼロ成長の民間予測 個人消費はマイナス、食品値上げ影響

・日本経済は7～9月期にほぼゼロ成長だったよう。日本経済新聞が30日に実質GDP（国内総生産）の民間予測を集計したところ、平均で年率0.2%増にとどまった。食品値上げや天候不順で個人消費が振るわなかったとの見方が多い。経済産業省が発表した9月の鉱工業生産指数を踏まえ成長率の見通しを聞いた。前期比の予測平均は0.1%増。

◆iDeCoが12月大幅拡充、利用拡大へ「企業年金弱者」加入が焦点

・個人型確定拠出年金（iDeCo、イデコ）が12月から大幅に拡充。制度の課題である低い加入率が、高まる契機になるか注目。企業年金のない会社の従業員やフリーランス、自営業者など「企業年金弱者」の活用を後押しできるかがカギ。加入者が払った掛け金の全額が所得・住民税の対象からはずれ、節税しながら資産を増やせる。

◆国民医療費、24年度1.5%増の48.8兆円 75歳以上の比率が4割超え

・厚生労働省は2024年度の国民医療費が前年度比1.5%増の48兆8100億円だったと発表。病気やけがの治療で医療機関に支払った費用の総額を示す。4年連続で過去最高。このうち75歳以上の後期高齢者の医療費が20兆1117億円で41.2%を占めた。比率は初めて4割を超えた。1人あたりの医療費は39万4300円で2.0%増えた。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆9月着工、物価高や金利の影響で6カ月ぶり減少

・国土交通省が公表した9月の新設住宅着工戸数は6万1826戸（前年同月比2.7%減）で、6カ月ぶりに減少。生活者マインドが金利の先行き感などを背景に一段と低下しており、法改正の影響があった前年を下回った。一昨年比では9.8%の減少。季節調整済み年率換算値は71万4000戸（前月比5.2%減）で、3カ月連続で減少した。

◆TOTOの純利益2.4倍 4～9月、事業再編費用の反動で

・TOTOが発表した2026年4～9月期の連結決算は純利益が前年同期比2.4倍の213億円。前年同期に計上した中国での事業再編費用がなくなった。半導体製造装置向けのセラミック製部材など新領域事業も堅調に推移。売上高は4%増の3646億円、営業利益は21%増の251億円だった。米国や欧州向けに衛生陶器やウォシュレット販売が伸びた。

◆AI予算、企業の3割で枯渇

・企業の3割超が人工知能（AI）利用のコストを見誤り、年度予算を途中で使い切っている。アクセンチュアが17カ国の企業を対象に実施した調査で、AI費用のコントロールに苦戦する企業の姿が浮かび上がった。業務を内容に応じて最適なAIモデルに振り分ける「適材適所」による手法の導入は3割にとどまる。

≪ 注目商品 ≫

■LIXIL、天然木を再現した樹脂フェンス

・天然木の木質感を再現した樹脂フェンス。平板と柱のエッジに曲線を付け、柔らかで外観に調和するデザインを実現。素材には、風雨による劣化や腐食、干割れ、ささくれが起こりにくい人工木材を採用。芯材部には木粉、樹脂ともにリサイクル材を使用。



■スガツネ工業 現場に合わせてどこでもカットできるLEDバーライト

・造作家具やカウンターなど、設置場所に合わせてどこでもカットできる「フリーカットLEDバーライト MISERA-FC」シリーズを発売。LEDとカバーを収めたアルミプロファイルごと切断し、ミリ単位での長さ調整可能なバーライト。ラインが連続して空間や什器を引き立てる。



■軽量小型でポータブル電源にもなる充電システム

・ツールブランド・DEWALT（デウォルト）から、手軽に持ち運べる18Vバッテリー充電システム「18V USB Power Delivery対応 ポータブル充電器（DCB094）」を発売。18Vバッテリーの充電システム。最短22分、従来比約1.1～1.2倍の高速充電が可能。

